

事業所名 三菱マテリアル(株)明石製作所

1 環境保全活動に関する方針等

1-1 環境保全活動に関する方針

企業理念 : 総合素材メーカーとして「人と社会と地球のために貢献する」

製作所方針 (品質・安全・環境マネジメントシステムの統合方針)

「世界に羽ばたこう! 明石製作所」マザー工場として、世界へ情報発信

- ・「本質安全」の徹底追及
- ・品質保証体制の強化
- ・ユニークな新製品の開発
- ・海外生産の強化

平成25年4月1日 明石製作所長

平成25年度安全環境管理方針

- ・法令を順守し、CSRを実践する
- ・従業員との協議を尊重しながら、心身共に健康で明るく働きやすい職場を創造する
- ・行動4原則 立入禁止・手出厳禁・足元確認・火元確認
- ・異常発見時 止める・呼ぶ・待つ

明石製作所は、関係する人すべての安全と健康確保が企業活動の基盤と認識し、安全で働きやすい職場と地球環境を保全するために、労働安全衛生マネジメントシステム・環境マネジメントシステム(OSHMS・EMS)に則して活動し、安全衛生・環境水準の継続的改善を、以下の方針で進める。

1. 継続的にリスク抽出およびリスク低減活動を実施し、本質安全化を進めゼロ災害を達成を図るとともに、環境有害源の産廃化・下水化等により環境廃棄物事故・災害のリスク低減を図る。
2. CSRおよび災害ゼロを果たすために、安全・衛生・環境等の関係する各種法令・全社規程・工場規程等を順守するとともに、一人ひとりが『決められたことは必ず守る・守らせる』職場風土を形成する。
3. 所長以下、管理監督者の『陣頭指揮・率先垂範』のもと、職場各層と協議し協力を得て、安全・環境・管理活動を全員参加で行う。
 - (1) 行動4原則の厳守、日常活動の充実(AT訓練、非定常を含むヒヤリハット、提案活動)
 - (2) TPM・総点検・リスク抽出活動による作業性・作業環境改善と環境負荷低減・3Rの推進
3R: Reduce (削減)、Reuse (再使用)、Recycle (再資源化)
 - (3) 入構教育・体感教育・AT訓練・特別教育・職長教育等の安全環境に関わる教育訓練の充実
4. メンタルヘルスケアを計画的に推進する。
5. 交通安全モラルの向上と不安全状態の改善により、交通災害を撲滅する。

平成25年4月1日 明石製作所長

1 - 2 環境保全活動に関する組織体制	
製作所環境管理統括者 = 公害防止統括管理者	: 明石製作所長
公害防止組織 (有資格者選任)	環境管理責任者 = 統括者の代理者 : 安全環境管理室長
	環境専門管理者・環境専門指導員 : 安全環境G
部門環境管理者 : 各部門長 (事務部・業務課・ソリッド工具センター・精密工具センター・開発部・ 材料技術部・品質保証部・生産技術室・生野プロジェクト室)	

2 環境保全活動の実施状況等

項目	取組結果	今後の取組計画
管理活動の計画推進と継続的改善	安全衛生マネジメントシステム・環境マネジメントシステム(OSHMS・EMS)の維持と継続的改善 ・ ISO 定期審査(EMS)・内部監査による是正と予防処置 ・ CSR 委員会と安全衛生委員会で月次確認 法遵守と重大災害ゼロ(労災・交通・保安・環境) ・ 法規制定期見直し(2回)と変化時の審査・届出 ・ 保安・環境事故→0件、休業災害→0件	継続 ・ ISO 定期審査(EMS) 継続 ・ 安全衛生含めたリスク評価と改善の充実
環境配慮製品の提供	エコ商品の開発・発売 ・ 高能率化、長寿命化となるエンドミルの開発 エコビジネスを拡大⇒長寿命化(リユース)に寄与 ・ 切削工具の再研磨・再コーティングビジネスの継続展開	TPM 開発管理・継続 ・ 新製品化率維持向上(発売5年以内) 継続
エネルギー対策 (地球温暖化防止)	電力使用原単位 →前年度比 削減なし・勿体ない活動、夏季と冬季の節電対応(休日変更によるピークカット) ・ 主要設備群毎のエネルギー管理基準による管理導入中	TPM 計画保全・継続 ・ 原単位 1%削減 ・ ライン停止時省エネ改善
投入資源の削減 (切削工具材料には希少資源を含む)	TPM 各種改善活動による資源生産性の向上 ・ 不良・手直し削減 →前年度比 削減なし ・ 設備突発故障削減 →前年度比 削減なし ・ 研削油液使用量削減→前年度比 32%削減(海外生産移管による効果) ・ 紙使用量維持削減 →前年度比 3%削減	TPM 個別改善・継続 ・ TPM 品質保全 ・ TPM 計画保全 ・ TPM 自主保全 ・ TPM 業務改善
化学物質対策	PRTR 化学物質の削減 →前年度比 削減なし ・ ジクロロメタン代替中期計画の推進 ⇒ジクロロメタン代替技術導入検討中	TPM 安全環境・継続 ・ ジクロロメタン代替洗浄方法の確立
水質汚染対策	協定値順守と排水汚濁負荷の維持(前年度比 削減なし) ・ 排水・地下水のモニタリングと定期報告実施、・PH 記録計の更新	TPM 安全環境・継続 ・ 廃液の下水化実施

	<ul style="list-style-type: none"> ・COD 自動測定器等の定期点検 地下水汚染の未然対策・改正水濁法の対応（有害物質貯蔵施設届出、埋設配管を地上設置変更） ・廃液・排水の下水化計画立案 	
廃棄物対策	埋立廃棄物量の削減 →再資源化率を前年度比 1% 向上 <ul style="list-style-type: none"> ・産廃委託業者の現地確認実施、・砥石屑のリサイクル推進 ・微量 PCB 含有廃油産廃処理委託契約および処理実施(7/29) 	TPM 安全環境・継続 <ul style="list-style-type: none"> ・砥石屑のリサイクル化 ・PCB 汚染物処理
工場内外の環境整備とその他公害対策	工場老朽リスク対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ユーティリティー老朽化対策(コンプレッサ更新) 公共水域への漏洩リスクの対策 <ul style="list-style-type: none"> ・高負荷廃液の産廃化 騒音対策・定期騒音測定(1回/2月) 緑地の維持管理・緑地の定期的な整備 不法投棄対策 ・周辺巡回と清掃 自動車公害対策・アイドリングストップの推進 	継続 <ul style="list-style-type: none"> ・高負荷廃液の産廃化 ・下水化実施
教育・訓練	自覚教育・新入構者教育・規程改定時教育 <ul style="list-style-type: none"> 公的資格者の計画育成・・・42名取得 特定施設の点検と緊急事態の対応訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・油、ジクロロメタン、排水処理場など漏洩訓練 	TPM 教育訓練・継続 <ul style="list-style-type: none"> ・地震対応の見直し
環境コミュニケーション	取引先との連携・取引先監査、・納入品 SDS 整備 <ul style="list-style-type: none"> 環境情報公開 ・製品 SDS ホームページ公開、・全社 CSR 報告書発行 行政主催行事への参加 化学物質不使用証明書発行 	継続